



コンポーネントの交換

- [取り外しのためのファブリック インターコネクットの準備 \(1 ページ\)](#)
- [ファブリック インターコネクットのシャット ダウン \(2 ページ\)](#)
- [ラックから Cisco UCS ファブリック インターコネクットの取り外し \(6 ページ\)](#)
- [返送用の Cisco UCS ファブリック インターコネクットの再梱包 \(6 ページ\)](#)

取り外しのためのファブリック インターコネクットの準備

従属 (スタンバイ) ファブリック インターコネクットを取り外しても、冗長なハイアベイラビリティ Cisco UCS 設定では中断は発生しません。プライマリ (アクティブ) ファブリック インターコネクットを取り外すと、スタンバイ ファブリック インターコネクットは最小限または中断なしでアクティブになります。

電源を落とし、クラスタ化されたファブリック インターコネクットを取り外してから、従属ファブリック インターコネクットをまず取り外し、プライマリ ファブリック インターコネクットを取り外します。



注意 プライマリおよび従属の両方のファブリック インターコネクット、またはスタンドアロン システムから唯一のファブリック インターコネクットを取り外す場合、Cisco UCS ドメイン全体がシャット ダウンすることに注意してください。

手順

ステップ 1 Cisco UCS Manager を使用して、次のタスクを実行します。

- a) Cisco UCS Manager の設定をバックアップします。
- b) Cisco UCS ドメインのすべてのサーバで OS をシャット ダウンします。
- c) Cisco UCS ドメインで Smart Call Home 機能を無効にします。
- d) UCS ドメインで接続されているすべてのシャーシを解放します。

詳細については、使用している Cisco UCS Manager のバージョンのコンフィギュレーション ガイドを参照してください。コンフィギュレーション ガイドは、次の URL から入手できます。
<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-manager/products-installation-and-configuration-guides-list.html>

- ステップ 2** 『Cisco UCS 5108 Server Chassis Hardware Installation Guide』で説明されているように、接続されているすべてのシャーシの電源を落とします。

ファブリック インターコネクトのシャット ダウン

1つのファブリック インターコネクトを同じファブリック インターコネクトのモデルと交換する必要がある場合は、次の手順を使用します。

Cisco UCS Manager (GUIまたはCLIのいずれか) を使用して、次の手順で説明するソフトウェア関連のタスクを実行します。詳細については、『Cisco UCS Manager Getting Started Guide』、『Cisco UCS Manager Infrastructure Management Guide』、および手順のビデオを次の URL から参照してください。
<http://www.cisco.com/c/en/us/support/servers-unified-computing/ucs-manager/products-installation-and-configuration-guides-list.html>

ベストプラクティスとして、ファブリック インターコネクトを交換する前に構成の完全バックアップを実行します。



- (注) すべての vNIC が冗長であるか、ファブリック フェイルオーバーが有効になっていることを確認します。

手順

- ステップ 1** Cisco TAC またはシスコのセールス担当者に連絡して、交換用のファブリック インターコネクトにライセンスを転送してもらいます。
- ステップ 2** 使用しているポートとケーブルにラベルを付け、後でこの情報を参照できるようにします。ケーブル配線とポートの番号付けは、交換用ファブリック インターコネクトと同じにする必要があります。
- ステップ 3** UCS Manager にログインし、A および B のファブリック インターコネクトの状態がアップまたはダウンになっていることを確認します。CLI から、`show cluster extended-state` コマンドを入力します。ハイ アベイラビリティが HA が準備完了と示されるように UCS Manager で動作している必要があります。

例 :

```
FI-A# show cluster extended-state
Cluster Id: 0x537d0580bf9911e0-0x8955000decd07984
```

```
A: UP, PRIMARY
```

```

B: UP, SUBORDINATE

A: memb state UP, lead state PRIMARY, mgmt services state: UP
B: memb state UP, lead state SUBORDINATE, mgmt services state: UP
   heartbeat state PRIMARY_OK

INTERNAL NETWORK INTERFACES:
eth1, UP
eth2, UP

HA READY  <<<<<<<<<<<<----- HA is READY
Detailed state of the device selected for HA storage:
Chassis 1, serial: FOX1344G1R1, state: active
Chassis 2, serial: FOX1318GDKR, state: active
FI-A#

```

ステップ 4 ソフトウェア構成をバックアップします。

ステップ 5 従属するファブリック インターコネクトでファブリック エバキュエーションの手順を使用し、ハードウェアの交換中にデータ トラフィックの影響がないようにします。

ステップ 6 ファブリック インターコネクトのプラグを電源から抜いて電源を切ります。

例 :

```

FI-A# show cluster extended-state
Cluster Id: 0x537d0580bf9911e0-0x8955000decd07984

A: UP, PRIMARY
B: DOWN, INAPPLICABLE

A: memb state UP, lead state PRIMARY, mgmt services state: UP
B: memb state DOWN, lead state INAPPLICABLE, mgmt services state: DOWN
   heartbeat state SECONDARY_FAILED

INTERNAL NETWORK INTERFACES:
eth1, DOWN
eth2, DOWN

HA NOT READY
Peer Fabric Interconnect is down
Detailed state of the device selected for HA storage:
Chassis 1, serial: FOX1344G1R1, state: active
Chassis 2, serial: FOX1318GDKR, state: active
FI-A#

```

ステップ 7 ファブリック インターコネクトをラックから取り外します。その場合は、[ラックから Cisco UCS ファブリック インターコネクトの取り外し \(6 ページ\)](#) の手順に従ってください。

ステップ 8 交換用ファブリック インターコネクトをラックに取り付けます。その場合は、[Cisco UCS FI 6454 をキャビネットまたはラックに取り付ける](#) の手順に従ってください。

ステップ 9 交換用ファブリック インターコネクトに管理ケーブルとコンソール ケーブルを接続します。

ステップ 10 取り外した L1/L2 ケーブルを交換用ファブリック インターコネクトに接続します。

ステップ 11 手順 2 で作成したラベルに従ってデータ ケーブルを接続します。

ステップ 12 ファブリック インターコネクトに電源ケーブルを接続すると、自動的に起動し、POST テストが実行されます。

---- Basic System Configuration Dialog ----

This setup utility will guide you through the basic configuration of

the system. Only minimal configuration including IP connectivity to the Fabric interconnect and its clustering mode is performed through these steps.

Type Ctrl-C at any time to abort configuration and reboot system.
To back track or make modifications to already entered values,
complete input till end of section and answer no when prompted
to apply configuration.

Enter the configuration method. (console/gui) ? console

Installer has detected the presence of a peer Fabric interconnect.
This Fabric interconnect will be added to the cluster. Continue (y/n) ? y

Enter the admin password of the peer Fabric interconnect:
Connecting to peer Fabric interconnect... done
Retrieving config from peer Fabric interconnect... done
Peer Fabric interconnect Mgmt0 IP Address: 122.255.252.2
Peer Fabric interconnect Mgmt0 IP Netmask: 255.255.255.0
Cluster IP address : 122.255.252.1

Physical Switch Mgmt0 IPv4 address : 122.255.252.3

Apply and save the configuration (select 'no' if you want to re-enter)? (yes/no): yes
Applying configuration. Please wait.
Configuration file - Ok

Cisco UCS 6454 Fabric Interconnect

FI-B login:

ステップ 13 必要に応じて、UCS Manager ソフトウェアをアップグレードします。交換用ファブリック インターコネクトがクラスタと同じファームウェアバージョンを実行していない場合、セットアップユーティリティはファームウェアをアップグレードできます。

例 :

---- Basic System Configuration Dialog ----

This setup utility will guide you through the basic configuration of the system. Only minimal configuration including IP connectivity to the Fabric interconnect and its clustering mode is performed through these steps.

Type Ctrl-C at any time to abort configuration and reboot system.
To back track or make modifications to already entered values,
complete input till end of section and answer no when prompted
to apply configuration.

Enter the configuration method. (console/gui) ? console

Installer has detected the presence of a peer Fabric interconnect.
This Fabric interconnect will be added to the cluster. Continue (y/n) ? y

Enter the admin password of the peer Fabric interconnect:
Connecting to peer Fabric interconnect... done
Retrieving config from peer Fabric interconnect... done
Installer has determined that the peer Fabric Interconnect is
running a different firmware version than the local Fabric.
Cannot join cluster.

```
FI-A# show cluster extended-state
Cluster Id: 0x537d0580bf9911e0-0x8955000decd07984

A: UP, PRIMARY
B: UP, SUBORDINATE

A: memb state UP, lead state PRIMARY, mgmt services state: UP
B: memb state UP, lead state SUBORDINATE, mgmt services state: UP
   heartbeat state PRIMARY_OK

INTERNAL NETWORK INTERFACES:
eth1, UP
eth2, UP

HA READY    <<<<<<<<<<<----- HA is READY
Detailed state of the device selected for HA storage:
Chassis 1, serial: FOX1344G1R1, state: active
```

```
Chassis 2, serial: FOX1318GDKR, state: active
FI-A#
```

- ステップ 15** ファブリック エバキュエーションを無効にし、両方のファブリック インターコネクットでトラフィックが流れていることを確認します。
- ステップ 16** 新しいファブリック インターコネクットにポート ライセンスを適用します。

ラックから Cisco UCS ファブリック インターコネクットの取り外し



注意 ラックから取り外すときに、ファブリックインターコネクットの両側をサポートします。スライダレールおよび前面ラックマウントブラケットには、ストッパ機構がありません。シャーシの前面がラックに固定されておらず、シャーシをスライダレール上で前方にスライドさせた場合、シャーシがスライダレールの端から滑り落ち、ラックから落ちる可能性があります。

手順

- ステップ 1** Cisco UCS ファブリック インターコネクットの重量が完全に支えられていて、別の人もシャーシを支えていることを確認します。
- ステップ 2** アース線をシャーシに取り付けている 2 本のネジを取り外します (取り付けられている場合)。
- ステップ 3** 電源コードとコンソール ケーブルを外します。
- ステップ 4** SFP28 トランシーバに接続されているすべてのケーブルを外します。
- ステップ 5** 取り付けレールに前面ラックマウントブラケットを固定しているネジを外します。
- ステップ 6** Cisco UCS ファブリック インターコネクットをゆっくり自分の方に滑らせ、スライダレールから引き抜き、ラックから取り出します。

返送用の Cisco UCS ファブリック インターコネクットの再梱包

ファブリック インターコネクットを返送する必要がある場合は、ラックからファブリック インターコネクットを取り外し、返送用に再梱包してください。できれば、元の梱包材と箱を使用してユニットを再梱包してください。シスコへの返送を手配するには、シスコのカスタマーサービス担当者に連絡してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。